



# 心あらたに 平成元年を迎えて

嚶鳴同窓会長 相沢 栄



同窓会員のみなさまには、常日頃力強いご協力をいただきまして心から厚く御礼を申し上げます。昨年は、母校創立九十周年という歴史ある年を迎えますことから後援会・PTA・同窓会が結束し、母校の一助へと事業を進めてまいりましたが、おかげをもちまして嚶鳴会館の完成を待つばかりとなりました。

同時に、学校が長年要望してまいりました老朽校舎の改築が、今年度に入つてようやくはじまりまして、来年度には、全校生徒が分けへだてなく学習することができると何ってしております。この生徒の成績におきましては東北でも上位にあり、女子高ではトップに立つという偉業を挙げられたというところでございます。このような優秀な生徒が思う存分勉強できる校舎であつてほしいと願ひしてまいりましたが、ようやく実現できまことはまことに喜ばしい限りでございます。

かえりみまして同窓会は、明治・大正・昭和から平成と四代に亘つて母校の発展とともに歩んでまいりました。昨年の記念式典では、ご来賓の方々から西高の卒業生は各方面で

常に社会の第一線でプランナーとして、またリーダーとして貢献しているとお褒めの言葉を頂戴いたしました。このことはひとえに母校で培われた嚶鳴精神と鍛えられたフアイトの表れであると改めてみなさまとともに母校に敬意を表したいと思ひます。このようにお一人お一人が何らかの形で社会に貢献されることが母校の名誉になることとございまして、同時に同窓会の発展につながるのてございまして、どうかみなさまの溢れる能力をそれぞれの立場において発揮されまますよう期待しております。

今年には平成という新しい年に卒業された三百余名を会員にお迎えいたしました。入会式では若い力・新しい生き方を同窓会に注いでいただきたいと願ひ申し上げたところでございます。

今や同窓会も一万九千余を数え、全国各地で力一ぱい活躍されております。この方々に母校の様子や同窓会の現況を掲載しております。この会報をお届けしたいと方針を講じてきましたが成果が得られず長年経過しております。何とか全会員にお届けできる方法を沢山の方々からお智恵をいただき、実現させたいものと願ひ申し上げます。どうかよろしく願ひ申し上げます。

改元によつて平成元年という意義ある年を迎え、それぞれ自分テーマを持って、力強く生きて行くことではありませんか。

## 昭和63年度 同窓会総会

編集発行所  
990 山形市鉄砲町一丁目  
15-64  
山形県立山形西高等学校  
嚶 鳴 同 窓 会  
電話 41-3504  
振替山形 5-995番

昭和63年度嚶鳴同窓会総会が十月三十日、山形市のパレス平安で開催されました。前夜から生憎の悪天候にも拘わらず、四百名を超える会員の参加を得て、終始和やかな雰囲気の中、一日となりました。高女・師範の大先輩から新制西高の若い卒業生まで、幅広い年齢層の会員が一堂に会したわけですが、

皆一様に懐かしい恩師・友人との再会を喜び、閉会後もなかなか席を離れ難い様子に、準備にあつた昭和43年・44年卒の当番幹事一同あやつてよかつた、と胸を熱くしました。

今回の総会を担当して、苦勞したことが二つあります。一つは、当番幹事の中に、これまで同窓会の活動に参加した経験のある者が誰もいなかったことです。卒業後長く山形を離れていたたり、仕事に子育てに忙しい年代ですので、総会の案内を頂いても参加することが出来ずいた者ばかりでした。

た「昭和天皇重体」のニュースで、国を挙げての自粛ムードの中、私達の総会も開催しにくい雰囲気の日が続きました。しかし既に総会券の大半が売れ、会場側も準備を始めていた時期でしたので中止する事も難しく、何度か話し合いを重ね、当会は祝賀パーティではないこと、予算・決算といったこの機会を逃がしては出来ない議事がある等の理由から開催に踏み切りました。万一の場合を考慮して、プログラムに例年用いた「米寿・喜寿祝賀」の文字を「記念



品贈呈」にかえたりして、ハラハラしながら当日を待ちましたが、無事予定通りの運びとなりました。当日は、雨風の強い天候ながら、受付の準備も完了しないうちから会員が集まり始め、開会前に既にロビーには旧交を温めるグループがいくつも出来ていました。話が弾み過ぎて開会のアナウンス後もなかなか会場への着席が完了せず、幹事があわてる一幕もありました。開会挨拶と議事が終了すると、会場内に来賓(恩師・喜寿の方々)をお迎えし式典が始まりました。暗転した場内に、白い清楚なブラウス姿の嚶鳴合唱団員が登場し、新二つの校歌を斉唱した時、雰囲気は最高潮に達し、共に口ずさむ人や懐かしさに涙ぐむ高令の同窓生の姿があらこちらに見られました。合唱団の方々には、校歌の他にもコンクール受賞曲の数々、アトラクション・コーナーでは楽しい童謡やみんなが親しめる叙情曲などをたっぷり聴かせて頂きました。女子校らしい、合唱に彩られた華やかな総会となりました。間もなく百年の歴史を持つ私達の母校。一口に同窓生とは言え、歴史が長いだけに、年令層によつて母校に対するイメージや意識の違いがみられます。全ての会員に満足いく総会作りの難しさを感じた一年でした。ただ幸いにも、総会の当番はベテランの先輩組と比較的若い者が一年置きに担当するシステムですので、これを十分に活かして、毎年、前例に拘わらない自由なプログラム作りを試みていくことが、会の魅力を増すことにつながるのでは、と考えます。

多、特に、本年はなごなな部、弓道部、山岳部、音楽部の全国大会での活躍が期待されております。なお、なごななとバスケットボールは第四十七回団体(ベにはなな団体)の強化指定をうけております。学力及び進学面では、本校も大現役合格が公立大二〇〇名、私立大七〇名をそれぞれ突破するレベルに達し、関西を含む県外高校からの本校視察が年間三十校をこえるこの頃であります。本年六月の全国模試では、北関東、東北地区で、男子高も含めた中で国語がトップ、数学が四位、総合でも最上位グループに入るなど健闘しております。本校の現況についてその概略を述べさせていただきます。したが、最後に、皆様方の益々の万福ご多幸を念じ、いっそうのご支援をお願い申しあげ、ごあいさついたします。

### ご挨拶

学校長 横田 光正

嚶鳴同窓会員の皆様には益々清福のこと存じます。

私が本校に赴任してしましてから四年目になりますが、日頃、皆様から本校教育に対し深いご理解と温かいご支援を賜わり、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

とりわけ、本校創立九十周年記念として四大事業を推進していただき、それらの中で嚶鳴資料館整備、中庭造園、九十周年記念誌発行の三事業は立派に円成し、嚶鳴同窓会館建設につきましても、計画を上廻る資金の拠出をいただき、平成三年には確実に建設できる見

通しとなりました。

現在、県の事業として本校の第二、第三校舎の大改築が進行中で平成二年八月までには三階建の堂々たる新校舎が完成する予定であります。

皆様ご承知の通り、本校の校舎、校地については幾多の変遷がありました。昭和三十年代の半ばには、

の二苦若が今日の本校の姿の、現在の土台となつていことに想いをいたし、感謝の念を禁じえないのであります。

本校の教育は、嚶鳴精神を基調として、心やさしく豊か人間、生きがい求め、目標をもつて生きるたくましい人間、未来に大きくはばたくための翼となる、確かな学力を身につけた人間の育成を目標としておりますが、資質と能力に恵まれている生徒たちは、期待にたがわず、労を惜まぬ教師団の指導によつて、学習や部活動、校友会活動や奉仕活動に全力を傾注しております。JRCの奉仕活動に対する金色有功章受賞、文化部、体育部の県優勝又は上位入賞も数

嚶鳴同窓会総会

平成元年度 総会

～皆様お誘い合わせの上是非おい下さい。～

11月5日(日)

山形ランドホテル

3,500円

会員券ご希望の方は、クラス幹事事務局へどうぞ!





# 職員動向

平成元年度は、齋藤建三先生の退職を始め、次の方々の異動がありました。

- 退職**  
齋藤 建三(理科) 本校勤務6年
- 転出**  
杉本 隆(数学) 本校勤務14年  
山形中央高へ  
小出 浩平(社会) 本校勤務10年  
山形南高へ  
水戸 正紀(国語) 本校勤務1年  
長井高へ  
渋谷 淳一(数学) 本校勤務1年  
新庄北高向分校へ  
清石 道夫(事務次長) 勤務3年  
県社会教育課へ  
佐藤 亮子(スポーツ技術指導員) 本校勤務3年  
山形二中へ
- 転入**  
北原 章(社会) 寒河江高より  
大竹 康義(理科) 谷地高より  
阿部 宏孝(数学) 鶴岡北高より  
工藤 久夫(数学) 寒河江高より  
村山千代子(事務次長) 県庁学事課より

去る昭和六十三年十一月二十九日、安達修子先生による教養講演会が開かれました。安達先生は本校を昭和四十九年に卒業、その後筑波大学へ進まれ現在もそこで古生物の研究を続けておられます。「アタチ」と名づけられた化石が既に五十種類という、世界の第一人者と認められている方です。以前にもご講演頂いたことがありましたが、今回は「今日に生きる」私の研究生活」という演題で、お話しして頂きました。先生の高校時代の、ゲルマストープの思い出に始まり、その燃料の石炭も化石であるという専門分野のお話へとわかり易く進められ、私共は、約一時間、親しみやすくまた貴い先生のお話に聞き入りおりました。大まかな内容は、研究生活の紹介、国際会議等での思い出、そして先生ご自身の生き方に

## 昭和63年度部活動報告

- バスケットボール部**  
県高校総体 準優勝  
県総体兼国体予選 準優勝  
新人戦県大会 ブロック優勝  
NHK杯 準優勝
- 弓道部**  
山形市長杯 優勝  
新人戦地区大会 優勝  
パドミントン部
- 陸上部**  
県高校総体 団体第3位  
県高校総体 2位  
東北高校総体 2位  
富樫時子 2位  
鹿野美香子 2位  
富樫時子 11位
- 水泳部**  
県高校総体 2位  
山鹿直子 2位  
山鹿直子 2位  
長岡由姫 2位  
山鹿直子 3位  
山鹿直子 3位
- なぎなた部**  
県総体兼国体予選 優勝  
演技一位 石井恵・金澤理恵  
試合二位 石井恵  
三位 金澤理恵  
東北総体出場 金澤理恵  
京都国体  
演技ベスト16 金澤理恵  
試合ベスト16 金澤理恵
- 音楽部**  
全日本合唱コンクール  
山形県大会 金賞  
東北大会 金賞  
全国大会 銀賞  
NHK学校音楽コンクール  
山形県大会 金賞  
全国育樹祭 招待演奏  
山形県高等学校芸術祭  
芸術大賞受賞

## 63年度校内合唱コンクール

母校創立九十周年記念行事として、式典の次の日、六月二十六日恒例の第30回校内合唱コンクールが行われました。

結果は次の通りです。クラスが特によくなりました。すばらしい合唱を披露してくれたクラスに送られて、一年生に送られました。

- 〈総合〉**
- 第一位 三年五組  
課題曲A 「夕なぎの海」  
自由曲 「美しい訣れの朝」  
より 「お母さん」
- 第二位 三年七組  
課題曲A 「夕なぎの海」  
自由曲 「愛の河」より  
「誕生」
- 第三位 三年二組  
課題曲A 「夕なぎの海」  
自由曲 女声合唱とピアノのための「イザヤの預言VI」  
「永田杯」 三年五組  
「阿部杯」 三年二組  
〈嚶鳴同窓会杯〉 一年一組  
課題曲B 「ともしが高きかかげて」  
自由曲 「若葉よ、来年は海へ行こう」

## 平成元年度 東北高校総体弓道個人第一位

3年 齋丸祐子

静まりかえる弓道場。射を行う人間は二人。東北大会個人決勝は佳境を迎えた。7射目。先の方がははずした。緊張の一瞬。多くの目が一点に集中していた。やがて、パシという音が辺りの沈黙を破った。終わった。とうとう自分は優勝してしまった。

7連中だったが、予選はギリギリで通過。何度か危ない目にも会った。それでも優勝できたのは、弓道部みんなの応援と対峙する執着心の何ものでもなかった。

弓道は精神力を多く問われるスポーツだ。いくら技能があっても己に打ち勝たなければどうしようもない。実際、県大会で活躍した人が予選落ちなんてのもある。

今大会は、地区大会で、同じ部の菊地裕子さんと競射した時と同じだったので、精神的に楽だった。彼女との競射は、決して忘れられないだろう。

弓道部に入って、仲間やその他たくさんの方々のサポート。最後まで続けて本当によかったと思う。

## 教養講演会

### 「安達修子氏」 私の歩いている道

「池田こずえ氏」

平成元年6月16日、池田こずえ先生による教養講演会が開かれました。池田先生は本校を昭和50年に卒業、その後、山形大学、創設三年目の医学部へ進まれ、第一内科において研究、治療活動を続けられておられます。

池田先生の講演は、医学博士と

き、家庭との両立をせまられる西高生にとっては、大変なことになるお話しでした。

中でも、内科を選んだ理由は、「人の命にかかわる重要な仕事だし、それによってスリルを味わってみたいから」とか、「学会のためにヨーロッパへ二週間旅行

したとき、仕事がない自分が、空っぽなことに気づいた。などの言葉に、先生の自分の仕事に対する強い思いが感じられました。その他、「適性に男女差なし」、「基礎的な知識は高校で養う」、「体力、忍耐力をつけよう」などは、これから高校生活を送っていく上で、大切なことでした。

最後に、「無理をせずにのびのびと、自分のできることをやっていって下さい」という言葉で、締めくくられました。常に目標をもち、それにむかってたゆまぬ努力を続け、そして現在、仕事においても、家庭においても、充実した生活を送っていらっしゃる先生の姿は、西高の先輩として、在校生にとっても、これからの一つの目標を示してくれたのではないかと思います。本当にためになるお話しありがとうございました。

母校が不慮の火災にあった昭和十九年。三月にはほんやり小学校の生活をとおした私にとって中等学校にされたようであつた。急いで大人扱いにされたようであつた。急いで大人扱いにされたようであつた。急いで大人扱いにされたようであつた。

母校が不慮の火災にあった昭和十九年。三月にはほんやり小学校の生活をとおした私にとって中等学校にされたようであつた。急いで大人扱いにされたようであつた。急いで大人扱いにされたようであつた。

先生の授業がすぐわかり易かつたことと申し上げると、「よく段階をふんで教えられる、どの子もわかるんですよ。だから頭のよい子は私の授業つまらなかつたでしょうね」と九九がしつかり言えない子には、さかのぼって確かになるまで教られたこと語ってくれました。

今教育現場の大きな課題となっている「わかる授業」を、あの時代に実践されていた先生。実は第一高女に求められる前に長井市の平野小学校の先生をなされたことをお聞きし、なる程キメ細かな指導の原点がここにあつたのかと深く考えさせられました。

こういう先生でも人間らしいトレンチカンな面も持ち、あるクラスの席次表の名前がしつかり頭の中に入っており、別のクラスに行つて同じ場所の人を呼んで大笑いされたこともあつたそうです。

ところで、かう先生は昭和四年から二十年の三月まで県立第一高女で教鞭をとられました。昭和十八年に退職願を出されたことと、しかし男教員が次々と戦争にとられ、教員が不足している時にやめるとは何事だと言われ、一年延長したのださうです。先生と私たちとの出会いはなかつたわけでは、ないです。

ここで意外な先生のかくされた一面をご紹介します。写真が趣味で、学校でも現像、焼付までなさっていたということです。



## 恩師訪問記 数学のベテラン 佐藤かう先生を訪ねて

うです。そこへ同じ家にお住いのやさしく、さわやかな感じの姪ごさんがお茶を冷たくしたメロン等運んでくださり、先生も担任だった四年先輩のOさんが持つて来てくださったという梅の甘漬け、梅ジャムなど小さな器に用意して下さいました。

ある生徒をとってやれば、みんなを撮らなければ平等にならないので生徒にはカメラを向けなかつたとか。若い同僚の二人の先生をとった女優さんのプロマイドのような傑作を古いアルバムの中に見せていただきました。

戦時中はいたモンペもご自分で十着も縫われ、そのうち五着は今もしまつてあるそうです。

Eさんが、約四年前に亡くなられたご主人の辰五郎先生は市内でも指折りのバックボーンのこと、その方がかう先生の旦那さんだということの後でわかつてびっくりしたことを話し、「お二人はどんなご夫婦だったんでしょうね」と興味ありげにおたずねしたら、「いや平凡な夫婦でしたよ。同じ家で長年くらしただけ。私の方が気むすかしがたつたでしょうね」とさりげなく答えられました。

またテレビや新聞などで社会のようすにも関心をもたれ政治家のDさんは男性から人気がないとか作家のSさんの講演はつまらなかつたとか、しつかりした意見をお持ちなのはびっくりしました。

谷口ミヨ先生が近くに住んでいられた九十八才なのにお顔もふっくらしてお元気で、とても心強く、はげみにもなつていられたので、すつかりお邪魔し、ごちそうになり、帰りにはお心のこもつた和菓子と姪ごさんより、水あげして置かれた美しいあじさいの花を頂き恐縮しながらお話ししました。

掃る道みち、お元気でしつかりしたかう先生について、みなさまにご報告できる。ほんとによかつた。という満足感で一ぱいでした。

訪問者 佐々木 悦  
鈴木 貞 記

昭和63年度経常費決算

昭和63年度維持会費納入状況

I 収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

II 支出の部 (単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 当初, 流用, 計, 決算額, 残額, 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

III 差引残高 (総収入) (総支出) (差引残高) 1,193,935円 - 1,076,042円 = 117,893円

平成元年度経常費予算

I 収入の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 入会費, 会費, 雑収入, 計.

II 支出の部 (単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 前年度予算額, 本年度予算額, 増減(△), 摘要. Rows include 総会費, 会議費, 後援費, 記念品費, 印刷発行費, 事務費, 通信費, 慶弔費, 交通費, 諸費, 予備費, 計.

昭和63年度基本金

- I. 収入の部 (1) 前年度繰越金 3,688,887円 (2) 前年度経常費より 112,331円 (3) 記念品代(返金) 177,000円 (4) 創立90周年より立替分返金 1,300,000円 (5) 利子 92,964円 (6) 総会残金 243,693円

計 5,614,875円

II. 支出の部 0円

III. 差引き残高 5,614,875円

(元年6月30日現在)

Table showing membership status by school and class. Columns include 区分, 年, クラス, and names of members.

計 252,000

創立90周年記念事業収入報告(最終)

I 収入の部 (単位:円)

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 収入済額, 備考. Rows include 寄付金, 雑収入, 合計.

II 支出の部 (単位:円)

Table with 6 columns: 項目, 予算額, 補正予算額, 支出済額, 残額, 備考. Rows include 創立90周年記念事業費, 嚶鳴資料編纂費, 募金費, 通信費, 印刷費, 会議費, 諸費, 嚶鳴会館設備費, 予備費, 合計.

評議員各種委員

嚶鳴同窓会規約第二章 第八條により、嚶鳴同窓会評議員(定員若干名・現在数三九名)の改選を行ないます。立候補を希望する会員は、元年八月三十一日まで、同窓会事...

- 評議員: 井口登美子, 古沢せい, 長嶋喜代子, 阿部まさ, 溝口静子, 竹谷たか, 小林和子, 五田アサ, 須貝清子, 清野和子, 庄司紀子, 佐藤紀子, 榎森 房... 各種委員: 中原えい子, 渡辺康子, 武田美知, 青木智子... 組織検討委員: 小松テリ子, 石沢ツネ, 朝倉カツ, 堀あさ子, 柏川タカ子, 平田洋子, 松浦英子, 鈴木よし子, 富樫由美子, 金谷睦子...

編集後記

梅雨あけとともに、山形は蒸し暑い夏となりました。低温の毎日が続いた後なので、特にこの暑さは応えます。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。...

総会当番について

一年一度の同窓会総会は、輪番制をとっており、次のように二学年ずつで担当していただいています。平成元年度:昭和27年卒学年 二年度:昭和45・46年卒学年 三年度:昭和28・29年卒学年 四年度:昭和47・48年卒学年 五年度:昭和30・31年卒学年

同窓会の事務局を担当して四年目になりますが、会報発行に携わるのは初めてです。会員の皆様に楽しみにしてもらえよう、又同窓会への理解を更に深めてもらえるような、そして、現在の西高について知ってもらえるような会報作りをめざして編集を進めてきました。...

